

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
公衆浴場等施設の衛生管理におけるレジオネラ症対策に関する研究
研究代表者：前川純子 国立感染症研究所 細菌第一部

平成 28 年度 分担研究報告書

検査機関へのレジオネラ属菌検査研修会の開催について

研究分担者 長岡宏美 静岡県環境衛生科学研究所 微生物部

（研究要旨）

レジオネラ属菌の検査を行っている検査機関を対象にレジオネラ属菌同定法について研修会を開催した。参加者は検査機関 19 機関 26 名であった。

研修は、座学と実習の二部構成で行った。

また、各検査機関が実施している検査方法を把握するため、事前アンケートを実施した。

講義では、検査の解説のほか、静岡県行政担当による「レジオネラ防止対策について」の解説の時間を設けた。

実習では、検体の前処理方法、接種、同定方法についての研修を行った。

事後アンケートでの参加者の評価は概ね良好で、来年度以降も開催を望む意見が多かった。

なお、この研修会は静岡県健康福祉部生活衛生局衛生課の主催で開催した。

A．研究目的

入浴施設のレジオネラ防止対策において最も重要なのは自主管理であり、自主管理は日常のレジオネラ検査がベースとなっている。すなわち、自主検査のレベルアップが自主管理の向上につながっていくことになる。しかし、現状では検査法が多様であることから、検出率は検査機関によって大きな差が生じているのが実情である。そこで、検査方法の違いによる問題点の認識を共有するとともに、検体採取から同定・定量に至る検査技術の標準化を図るため研修会を開催した。

B．研修内容

1．研修対象

静岡県内の保健所に提出されるレジオネラ属菌の自主検査結果にて確認できる検査機関を調査し、県内検査機関の概要を把握した。

研修会の開催はホームページに掲載し（資料

1）参加希望機関を公募した。

2．研修参加機関

19 機関、26 名が参加した。

3．研修内容（資料 2）

座学（1 時間 20 分）

健康福祉部生活衛生局の行政担当からレジオネラ防止対策について、2016 年 3 月に行った規則改正を含めた解説を行った。

続いて、レジオネラ検査の現状と静岡県環境衛生科学研究所の SOP に基づく検査方法及び午後の実習について解説した。

最後に、実習時にはバイオハザード区域に入室するため、バイオセーフティー講義を行った。

実習（4 時間）

検体の前処理、検体の接種、同定方法について実習した。

- ・ 検体の前処理及び前処理

濃縮ろ過法、酸処理、熱処理の3法をデモンストラーション後に研修生が実習した。

それぞれの検体は、GVPC培地に塗抹した。

- ・ 同定方法

あらかじめ準備したレジオネラ属菌を塗抹したGVPC培地で、典型コロニーを観察した。

また、斜光観察を行い、レジオネラ属菌と他の菌との違いを観察した。

鑑別培地への塗抹を実習し、あらかじめ準備した鑑別培地でシステイン要求性の違いによるレジオネラ属菌の同定方法を実習した。

レジオネラ属菌と同定された株について、ラテックス凝集反応による血清型別試験を実習した。

PCRについては、今回は説明のみにとどめた。

C. 考察

事後アンケートの結果、研修は概ね好評であった。すべての参加者が次年度の開催を希望しており、検査技術レベルを維持するためにも、研修は必要であると思われた。

しかし、研修の実施にあたっては検査法の選択の問題が生じる。

今回は静岡県SPOに基づく検査法により研修を実施したが、今後研修を継続して実施するにあたっては、現在のレジオネラ症防止指針に準拠するのか、或いはISOに準ずる方法を取り入れるかなど早急に検討すべき課題である。

また、研修の成果を検討するには精度管理体制の構築も不可欠であると思われる。すなわち、標準検査法の確立と研修制度及び精度管理体制の構築を並行して推し進めることが、今後の検査精度向上のためには重要であることが示唆された。

提供日 2016/08/
 タイトル レジオネラ属菌検査研修会の開催
 担当 健康福祉部生活衛生局衛生課
 連絡先 生活衛生班
 TEL 054-221-3281



レジオネラ属菌検査研修会を開催します。

1 要旨

静岡県では、旅館業法、公衆浴場法に基づく条例において、営業者に対して入浴施設の消毒やレジオネラ属菌の自主検査を義務付けています。

レジオネラ属菌の検査方法については、「新版レジオネラ症防止指針第3版」等で複数の方法が示されていますが、検査機関が選択した方法により、検査結果に相違が生ずることが指摘されています。

そのため、検査方法の違いによる問題点の認識を共有するとともに、検体採取から同定・定量に至る検査技術の標準化を図るため、今年度初めて、県内で従事するレジオネラ属菌検査事業者を対象とした研修会を開催します。

2 研修会の内容

- (1) 日 時 【第1回】平成28年9月12日（10時30分～17時）
 【第2回】平成28年9月15日（10時30分～17時）
- (2) 場 所 静岡県環境衛生科学研究所（静岡市葵区北安東4-27-2）
- (3) 参加者 県内でレジオネラ属菌の検査業務に携わる者
 各回10～12名
- (4) 内 容 【午前】講義 ・レジオネラ防止対策及び検査方法等の説明
 【午後】実技 ・検体の前処理方法1（ろ過法、冷却遠心法）
 ・検体の前処理方法2（熱処理、酸処理等）
 ・検体の接種
 ・同定方法（斜光法、鑑別培地による同定、PCR）

※ 環境衛生科学研究所の微生物検査担当者が指導にあたります。

<参考>

- 1 レジオネラ属菌は、土・川・湖沼など自然環境に広く生息しています。入浴施設の衛生管理が徹底されていない場合、レジオネラ属菌が繁殖する場合があります。
- 2 レジオネラ症は、レジオネラ属菌を含んだ目に見えない水滴（エアロゾル）を吸い込むことによって感染します。症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛、咳、肺炎症状などで、潜伏期間は2～10日間程度です。

レジオネラ症発生件数

年度	H25	H26	H27
全国件数			
県内件数			

資料2 研修会次第

平成28年度 レジオネラ属菌検査研修会

日 時：平成28年9月12日（月） 10：00～17：00

場 所：静岡県環境衛生科学研究所
別館会議室及び4階微生物部実験室

－研修会第一－

10：00～	受 付
10：30～10：40	開 会 （挨拶）
10：40～11：00	静岡県のレジオネラ防止対策について 健康福祉部生活衛生局 衛生課
11：00～11：30	レジオネラ検査について 環境衛生科学研究所 微生物部
11：30～11：40	バイオセーフティー講義 環境衛生科学研究所 微生物部
11：40～12：00	質 疑
【昼 食】	
13：00～16：00	実 習 ・ 検体の前処理方法1（ろ過法、冷却遠心法） ・ " 2（熱処理、酸処理等） ・ 検体の接種 ・ 同定方法（斜光法、鑑別培地による同定、PCR）
16：00～17：00	質 疑
17：00	閉 会